

令和7年度第75回高知県芸術祭協賛行事

近現代漫画家記念館共同巡回展

湯前まんが美術館 / 合志マンガミュージアム
横山隆一記念まんが館 / 勝央美術文学館

これが 漫画!展

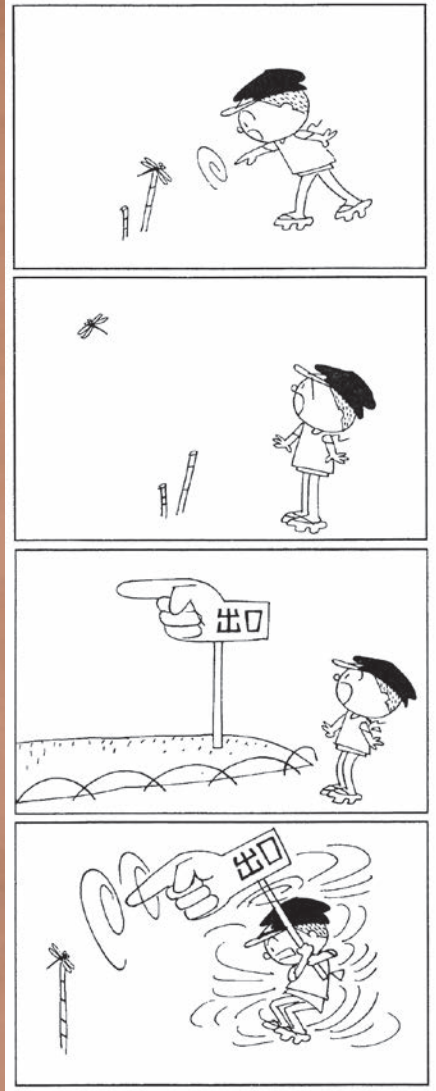
日本の漫画を創った時代～楽天・隆一・良輔～

This is Manga! Exhibition: The era that shaped Japanese Manga – Rakuten, Ryuichi, Ryosuke –



フクちゃん

横山隆一
(1968年)



近現代漫画家記念館共同巡回展「これが漫画!展」は「第一章 近代漫画の胎動」「第二章 戦争と漫画」「第三章 漫画集団の発足」の3つの章で構成されています。第一章は、明治・大正期に活躍をした日本初の「職業漫画家」北沢楽天を中心に、当時の資料で時代背景を見ていきます。第二章は、戦争と漫画について、当館資料の「フクちゃん」原画を中心に戦時下の日常について探ります。第三章は、戦後の漫画界を牽引したグループ「漫画集団」を取り上げ、風刺漫画家の那須良輔の資料から、今へとつながる「まんが」について考えます。

企画展入場者には記念品をプレゼント。また関連企画(次頁参照)も開催します。企画展図録には、当館限定の購入特典がありますので、是非お買い求めください。

- 開催期間 ● 2025年9月13日(土)～11月4日(火)
時 間 ● 9:00～18:00(最終入場は17:30まで)
休館日 ● 月曜日 ただし祝日は開館
観覧料 ● 一般500円(400円)、高校生以下無料
※常設展と共通チケット
※()内は団体(20名以上)または、学校利用料金
※65歳以上の方及び身体障害者手帳(1,2級)、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者1名は半額料金
- 主 催 ● 高知市、横山隆一記念まんが館、近現代漫画家記念館共同巡回展実行委員会
主 管 ● 公益財団法人高知市文化振興事業団
主 協 力 ● 公益社団法人日本漫画家協会、京都国際マンガミュージアム・京都精華大学国際マンガ研究センター、さいたま市立漫画会館
助 成 ● 一般財団法人地域創造

行事案内 INFORMATION

「これが漫画！展」 関連企画

「これが漫画！展」の関連企画では、紙本保存修復家の一宮佳世子さんを講師に、展示している修復物のお話を聞き、保存修復技術に応用したフォトブックの制作を行います。ミュージアムトークは展示の経緯や各作家について時代背景と共に観ていきます。

『保存修復技術を学んでフォトブックを作ってみよう』〈要予約〉

日時●10月11日(土)
10:00~12:00

参加費●無料
材料費●1,000円
対象●小学生以上
定員●15名(先着順)
場所●企画展示室及びまんがライブラリー-2
講師●一宮佳世子さん(紙本保存修復家)
申し込み●088-883-5029(まんが館)



『ミュージアムトーク』〈要観覧券、予約不要〉

日時●9月20日(土)、10月25日(土)
各日14:00~14:30
場所●企画展示室

高知 まんが家 だより

村岡マサヒロさん個展 「4コマの家」にお邪魔しました！

期間●2025年7月5日(土)~7月13日(日)
場所●アトリエやまさき(高知市北本町3丁目)

いの町出身のまんが家村岡マサヒロさんの個展「4コマの家」が、アトリエやまさきで開催されました。会場のモノなどからインスピレーションを受けて描かれた4コマまんがは、その場にいることで意味が分かる体験型4コマというべき斬新な展示。どこに作品があるのかも自分で探さないとけないので、それが楽しみでもあり、「きつと見逃した作品もあるだろうけどわからないからいいや」と思える不思議な空間を作り出していました。作品は販売もされていましたが、伺った時にはほとんど売れてしまっていました。



【会場風景】どこに4コマがあるでしょう？

行事報告 REPORT

教員のための博物館の日 講座&展示解説を実施しました

「教員のための博物館の日」は先生と博物館を繋ぎ、授業や学習に役立ててもらおうとかけつくりのための取り組みで、全国の博物館で開催されています。まんが館は8月19日(火)~24日(日)の期間で開催しました。そのうち21日には、絵が苦手な先生のための簡単イラスト講座と学芸員による常設展示解説を実施しました。

昨年の「教員のための博物館の日」にいられた先生から、「イラストがさっと描けるようになりたい」とのご意見があり、この悩みを解決できるのは元教員で「高知漫画グループ」の会長の橋村政海さんが適任だと考え、今回講座の講師をお願いしました。

まずは橋村さんが最近制作に使用しているA-1の話から始まり、子どもにA-1を使わせるかどうかという問いかけをされました。一見すると使わせないという答えが出そうですが、現代の子どもたちにとってA-1は使うのが当たり前の世界になっているので、使うことは問題なく、使ったための判断力や国語力が大切であると言われていました。

次にイラストの描き方については、動物の人の顔や動き、いつでも同じ顔を描くためのテクニック、自分を動物のキャラクターにするやり方など、先生たちが学校で使えるよう具体的にアドバイスをしていました。講座終了の時間になっても、もっとやりたいとの声が多く、とても充実した講座になったと思います。今度は先生たちから子どもたちへ描くことの楽しさが伝播していくことを期待しています。

展示解説は、興味や関心が高まり、理解が深まったことのご意見を頂きました。

まんが館が、高知の子どもなら一度は観に行きたいところがある博物館になれるよう、これからも取り組んでいきたいと思っています。



トピックス TOPICS

クルーズ船インバウンド 観光客への来館勧誘

今年度、高知市は文化観光スポーツ部を創設し、文化施設に観光の観点を取り入れることになりました。

そこで、まんが館への新たな来館者の開拓を目指して、高知市文化振興事業団職員と高知市文化振興課職員が連携し、高知市国際交流員の協力を得て、はりまや橋観光バスターミナルでの来館勧誘を行いました。

これまでも、まんが館には外国人観光客の来館が年間200人ほどあったものの、積極的に勧誘はしていませんでした。そのためインバウンド客のニーズなどの予備知識が無いなか、バスターミナルから歩いてすぐ、という地の利を生かし、バスターミナルでの勧誘を、体当たりで行いました。

1回目で、インバウンド客はひろめ市場や高知城など目的の地が決まっており、自由時間があまり無いことや、「見る」より「体験する」ことを望んでいることが分かりました。

2回目では、滞在に少し余裕のありそうなクルーズ船を対象に「折り紙体験を企画しました。また、事前に簡単な英会話教室を国際交流員の方に行ってもらい、まんがは「manga comic」の方が通じることなどを学びました。そして、英語の案内パネルを作成し、折り紙体験への勧誘を行いました。

参加者は、兜や鶴、手裏剣などを職員と一緒に楽しめながら制作しました。今後もういろいろ試しながら、勧誘に取り組んでいきたいと思っています。



どっぶり高知旅関連展示
連続テレビ小説「あんぱん」展と

「やなせたかし作品展（仮）」

現在、NHKの連続テレビ小説「あんぱん」にちなんだ巡回展が県内5カ所で順次開催されています。会場では、「あんぱん」の衣装や小道具、出演者のインタビューパーネル等の展示に加えて、モデルとなった「やなせたかし暢夫妻」の功績やエピソード、ゆかりの地等を紹介しています。何った須崎会場では、いくつもフォトスポットがあり、楽しい写真が撮れて記念になると思います。

展示の一角には、周辺地域を「どっぶり高知旅」できるよう、各地域のパンフレット



須崎会場の様子



も置かれていました。これに、県内各地を散策しても楽しいかもしれません。11月からは、やなせたかし作品に注目した「やなせたかし作品展（仮）」が巡回展として県内3カ所で開催されます。当館からは、伝「やなせたかしと横山隆一」展で展示していた空港壁画「鯨」「足摺岬」の2点を土佐清水会場にのみ展示します。見逃した方、もう一度見たい方は是非足をお運び下さい。

連続テレビ小説「あんぱん」展

会 期	会 場
2025年 5月31日(土)～6月22日(日)	宿毛まちのえき林邸(宿毛市)
7月12日(土)～8月3日(日)	すさきまちかどギャラリー／旧三浦邸(須崎市)
8月9日(土)～8月31日(日)	本山さくら市(本山市)
9月6日(土)～9月28日(日)	まきのさんの道の駅・佐川(佐川町)
10月4日(土)～10月26日(日)	室戸世界ジオパークセンター(室戸市)

「やなせたかし作品展（仮）」

会期予定	会 場
2025年11月 8日(土)～12月21日(日)	高知県立足摺海洋館[SATOUMI](土佐清水市)
2026年 1月10日(土)～2月23日(月・祝)	安芸市立書道美術館(安芸市)
3月 1日(日)～3月29日(日)	北川村「モネの庭」マルモッタン(北川村)

行事報告
REPORT

2025夏休み

まんが体験イベント
めざせ！まんが職人

夏休みの大人気恒例イベント「めざせ！まんが職人」を、7月29日(火)から8月16日(土)までの6日間、全12コースで開催しました。小学生の夏休みの宿題にぴったりの内容が好評で600名を超える申し込みがあり、今年も創作の熱意を感じるアツいイベントとなりました。このイベントの工作は、アイデアや工夫次第で完成度を高められるものばかり。1枚の用紙から沢山の色鮮やかな作品が生まれ、平面的な絵を配置の仕方での立体的に表現したり、糸を上手に使って動きをつけたりしていました。同じ材料が目の前にあっても、全く違うものとして活用していく子どもたちに私たちが学ぶことも多く、豊かな発想力に驚かされます。

子どもたちだけで参加できるイベントですが、親御さんも同席されることが多く、約20年ほどまんが館とのイベントを共にしてくださっている講師の先生から「スマホが無い時代はお子さんたちが、まんがの主人公を描きたい！といったも資料を探すのに大変でしたが今はスマホ一つで探せるようになりました。是非親御さんも子どもと一緒に創作活動に参加してみてください。」と絵が描けない、工作が苦手という親御さんにも、お子さんと関わりを持ちながら創作活動を応援できるアドバイスをいただきました。

子どもたちの無限のアイデアや豊かな発想力はまんが工作に留まらず、これからご自宅や学校など色々な場面に活かしていつてほしいなと思います。



きょうだいで細部にまでこだわった力作を作り上げてくれました！

まんがと私



ばぶれるりぐる主宰

劇作家



竹田モモコ

「まんが家になったかった」

私の地元は土佐清水市で、遊びといえば海で二子を獲り、山でイタドリを採る…遊びと生活が隣り合わせにあった。つまり圧倒的にロマンチックと文化が足りなかった。

恋や冒険、シニールなギャグを教えてくれたのはいつもまんがだった。折しも月刊まんが戦国時代。女子は「りぼん派がなかよし派に分かれていたが、私は圧倒的に『りぼん派』派だった。天邪鬼な子供だったので、今でいう逆張りをしたのもあった。地元の親戚がやってくるつづれかかった文具屋には『りぼん派』を卸してなかったたので、わざわざバスで買いにいった。その行為もポイントが高かった。誰も読んでない雑誌を読む優越感。

私はそのうち模写をして「読者イラストコンナ」にせつせと投稿するようになった。絵には自信があった。まんがの一場面をそっくりそのまま写してどんどん送ったが、なかなか掲載されない。掲載されるのは私より下手くそでまんがに描かれてない場面を創作したハガキばかり。貼り絵とか、悪者同士が仲良くしているオフショットとか…結局私のハガキは一度も掲載されることはなく、まんが家も諦めた。それが人生で初めて「あー、オリジナリティって大事なんだな」と気づいた瞬間だった。実はこの体験は、脚本家になった今でも尾を引いていて「見たことないものを見せる」ということにすぐく憧れがあって、常に意識している。

ありがとつ、『りぼん派』。まんが家にはなれなかったけど、なんとなく近いもんにはなったよ。

行事案内

第21回まंगाの日記念 4コマまんが大賞作品展&表彰式

「第21回まंगाの日記念・4コマまんが大賞」には多数の応募をいただきありがとうございます。応募作品の中から、入賞作品や一次審査通過作品などを展示します。クスリと笑えたりゾーンと感動したり、驚きの発想が描かれた作品など個性豊かな4コマまんがが勢ぞろい！県内外から寄せられた力作の数々をぜひご覧ください。

会期初日の11月29日(土)14時から入賞者表彰式を開催予定です。表彰式はどなたでもご来場いただけます。

また、惜しくも受賞を逃した作品の中から、来場者の投票による「ギャラリイ賞」を今年も実施します。審査員としての視点で作品を鑑賞し、あなたのお気に入り作品に投票をお願いします！12月にはまंगाがラブリー2で、1日限定のまंगा体験イベントも実施予定です。ギャラリイ賞に投票された方ならどなたでも無料で参加できます。4コマまんが大賞作品展と合わせて、ぜひお楽しみください！

期 間●2025年11月29日(土)～12月27日(土)
場 所●横山隆一記念まंगा館企画展示室
時 間●9:00～18:00
休館日●毎週月曜日
観覧料●無料
主 催●高知市、横山隆一記念まंगा館
主 管●公益財団法人高知市文化振興事業団

行事案内

第9回 お城下文化の日

毎年恒例の「文化」をキーワードにしたイベント「第9回 お城下文化の日」が、11月9日(日)に開催されます。このイベントは高知市中心部の7つの文化施設(通称「お城下ネットワーク」)が連携・協力しながら実施するもので、まंगा館も毎年参加しています。当日は常屋町商店街アーケードを会場に様々なイベントが行われる予定です。まंगा館は高知漫画集団の山北三砂子さん、クメヒロオさんに協力いただき、例年大人気の似顔絵コーナーで参加します。

また、当日は高知県国際交流協会主催「国際ふれあい広場2025」、ベトナム交流協会主催「高知ベトナム交流会2025」と連携したスタンブラリーも実施予定。各イベント会場に設置されたスタンブを押して集めると、色々な景品が当たる抽選に参加できます！イベントを通じて「まंगा」や「文化」の魅力を皆様に発信、共有できればと思います。



昨年の「お城下文化の日」、似顔絵コーナーの様子

行事案内

まんさいーこうちまんが フェスティバル2025& 高知もキャラ×月刊少年シリウス 特別読み切りまंगाの制作決定！

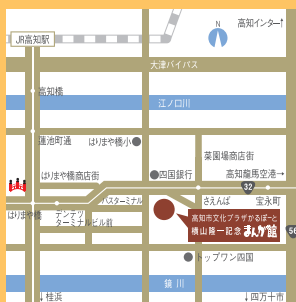
高知市のまंगाイベント「まんさいー高知まんがフェスティバル2025」が11月1日・2日に開催されます。おなじみとなった「まんさいー親善大使の部屋」や「ライブドローイング」、誰でも気軽に「まんが」を楽しめる「まんがで遊ぼう」コーナーやコスプレイベント、プロのまंगा家との交流コーナーの他、今年は「こども遊び広場」でいろいろな遊びやゲームも楽しめます。

また、8月2日に行われたまंगाが甲子園のステージにて、まんさいー高知もキャラ×月刊少年シリウスによる特別読み切りまंगाの制作記者発表がありました。ステージには作中に登場するじもキャラたち、こーにゃん(香南市)・まがり博士(室戸市)・安田朗(安田町)・シャモ番長(南国市)・もんちゃん(香美市)・しんじょう君(須崎市)・くろしお君(高知県)、そしてそれぞれの自治体代表者が勢ぞろい。各代表者が掲載に向けたあいさつの後、突如はりまや橋の妖精？はりまとやばしが入り乱れ、ステージ上を縦横無尽に動き回ったり、歌ったりと大暴れしていました。そんな、はりまとやばしも登場する特別読み切り漫画が掲載される月刊少年シリウス12月号は10月25日発売。まんさいーではこの特別読み切り漫画の内容を、じもキャラ達のパフォーマンスと、ゲスト声優の生アテレコによる特別ステージで披露します。



館のご案内

開館時間 9:00～18:00
休 館 日 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館)
年末年始(12月28日～1月4日)
常設展示観覧料
一般410円
団体(20名以上)320円・65歳以上200円・高校生以下無料
身体障害者手帳(1、2級)、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者(1名)は200円
お問い合わせ先
〒781-9529 高知市九反田2-1
高知市文化プラザかるぽーと内
横山隆一記念まंगा館
TEL:088-883-5029
FAX:088-883-5049
URL:https://www.kfca.jp/mangakan/
E-mail:mangakan@kfca.jp



横山隆一記念まंगा館へは、高知市文化プラザかるぽーと3階の入口よりご入場ください。

新着図書(2025年5月～7月)

高知出身まंगा家
『古々路ひめめの全秘密』4巻 小松翔太
『怪獣自衛隊』17巻 井上淳哉
『深夜食堂』29巻 安倍夜郎
オススメピックアップ！
『ふつうの軽音部』1～4巻 出内テツオ(作画)/クワバリ(原作)
『路傍のフジイ』1～4巻 鍋倉夫
『雷雷雷』1～3巻 ヨシアキ
『どくだみの花咲くころ』1～2巻 城戸志保

その他、続々入荷中！

フク話内

映画が好きで、特に「映画館で」観る映画が大好きです。大きなスクリーン、大音量、圧倒的な没入感。気に入った作品は何度も映画館で観てしまいます。一度だけ、同じ日に映画館でそれぞれ別の映画を3本観たことがあるのですが、3本目のころには首から肩、背中がガチガチに……。もはや楽しむどころではなく、それからは多くても観るのは2本までと誓いました。近年直上げの影響やサブスクの普及で「映画館離れ」なんて言われていますが、今年は何を観に行こうかな、と過去の映画パンフレットを眺めながら考えています。(の)